

みずき

mizuki



contents

CLOSE UP.....1	学友会だより8
巻頭言1	研究室から8
未来を拓く2	大垣女子短期大学での思い出9
大垣女子短期大学	Information10
学科だより3	みずきトピックス12
CLUB ACTIVITIES6	



「子育てママ大学」開講中です

平成26年度、本学は大垣市から委託を受けて「子育てママ大学」を行っています。これは子育て中のお母さんを対象に、知的好奇心を刺激する大学ならではの子育てに関する学びの機会を提供することを目的としています。

5学科がそれぞれ1つずつ講座を開講する5回シリーズになっています。定員は30名で、お子さんはボランティア保育士と共に、幼児教育科の学生が託児を行います。こうした取り組みは子育て中のリフレッシュにもなり、知識も得られると地域の方々から好評をいただいています。

6月5日には開講式と第1回目の講座、幼児教育科客員教授の古宮山昭子先生による講話がありました。受付を済ませお母さんたちを学生に預けて、お母さんたちは別棟の講義室へ。お子さんと学生がほぼ1対1の体制で託児させていただくことは、学生にとって貴重な保育の機会です。本学の子育てサロン「ぷっぷあ」と同様、地域への貢献となり、また学生の体験的な学びとなっています。

日程	講座名	担当
6月5日(木)	楽しんで子育てを	幼児教育科
7月3日(木)	虫歯0歯育て実践セミナー	歯科衛生科
10月2日(木)	親子でレリフを作ろう	デザイン美術科
11月6日(木)	お母さんにできる応急・救急処置	看護学科
12月4日(木)	ミュージックベルでクリスマスソングを演奏しよう	音楽総合科



巻頭言

“Time is money”

“Time is money”、「時は金なり」。これは、「時間はお金と同じように大切な価値がある。無駄にしてはいけない。」という意味です。さて、この「時」、いわゆる「時間」は、肉眼で見えることはできません。外の景色が明るくなると朝だと思い、日が暮れると夜になっていくことは、四季折々差異はありますが時間の経過は理解できます。しかし、ひとたび「体内時計」が狂うとそれもままならないこともあるでしょう。この時間(1日24時間)は、我々に唯一平等に与えられているものです。時間は、不思議なもので何かに集中している時はとても短く、退屈な時は長く感じます。

学生の皆さんは、この時間を授業中はどのように感じているのでしょうか。授業は1コマ90分、平日はこの区切りがあることにより時間を感じているのかもしれませんが。

「ある日突然、灰色の男たち(時間どろぼう)がやってきて、人々の時間を奪い時間銀行に預ける。人々は、時間を奪われ無表情になりひたすら仕事をする。それを人間にとりかえしてくれた女の子モモ」

歯科衛生科教授 久本 たき子

これは、ドイツの作家、ミヒャエル・エンデの作品「モモ」の物語です。人は、時間あるいは心に余裕がなくなると険しい表情に変わっていく。人は、忙しすぎると自己を見失いがちになります。ある程度のストレスは、生きていくうえで必要ですが、過度のストレスは周囲に対して配慮が出来なくなってしまう。時間をどのように使うかは、その人の使い方次第。1秒1秒過ぎていくこの瞬間(今)は、すぐ過去になってしまいます。今を大切にして、近未来の小さな目標(夢)を持つことも必要でしょう。「このようになりたい。こうありたい。」というイメージを持ち、毎日過ごすことをお勧めします。かくいう私は人生の半ばを過ぎましたが、後半の時間をどのように使うのか、自己の夢を描きつつ日々暮らしています。





未来を拓く大垣女子短期大学

学校法人 大垣女子短期大学 理事長
大垣女子短期大学 学長

中野 哲

近年、世界ではIT革命とかグローバル化という大きなうねりの中、宗教や、民族の差異に基づく紛争が各地で起きている。一方、日本も周辺国の間で様々な紛争の種が存在し、国内においては少子高齢社会となり若い世代の未婚率の増加などで、人口の減少が懸念されてきている。教育界に目を転じてみると若い世代の大学進学率が上昇し、とくに女子ではその傾向が強くなり、主として女子教育を担ってきた短期大学への進学率が減少の一途を辿っている。このような日本の短期大学にその存続に大きな危機感が出てきているので、今こそ、4大と専修学校との差異を明確にする必要がある。

さて、日本の大学の教育基本方針は教育、研究、地域貢献の3本柱になっているが、女性が9割を占める日本の短期大学では、地域に根ざした学校が多く女子教育によって地域貢献を果たしてきたという経緯がある。近年、女性の社会進出やリプロダクティブ・ライツの考えの普及など女性の意識も大きく変わり、男女ともに未婚率が増加している。近年は少子化による人口減少により日本の未来に陰りがみられるようになり、若い女性の人口に絞った観点から日本で消滅する可能性のある市町村が発表されるなど、大きな問題になっている。

一方、労働市場も変化し、最近では教育改革が4大より短期大学の方がスピーディになってきて、就職において短期大学卒の方が4大卒より優位になってきたとの報告もみられるようになってきている。

本学は開学以来明確な建学の精神に基づいて45年の星霜を重ねてきた教育系、芸術系、医療系の5学科から成る総合女子短期大学であり、現在卒業生は北海道から沖縄に至る全国に2万6000人を数えている。

日本の社会が大きく変わってきている時代に対応するために本学で最も長い歴史を誇る幼児教育科は、修業年限が2年であるところが多い現状の中、数年前から3年課程にして在学中に実習の成果、反省、改善方法などの討議を行うなど、卒業後の即戦力を身に付ける教育の充実と、時代に合った種々の資格の習得も可能となる教育を行っている。また、全学あげての「子育てサロン」、「子育てママ大学」の開催など、大垣市が掲げている「子育て日本一」事業への積極的参加によって、地域社会で実績をあげ、今後は近年増加傾向にあると言われている心身の発達が遅れている児童への支援・教育にも積極的に取り組んでいく予定である。

歯科衛生科は健康管理における口腔ケアの重要性が論じられている昨今、早い時期から、全身医学など幅広い医学を導入し、地域の医療チームの重要なメンバーを育ててきており、就職先も公共機関や総合病院などにまで広がっている。

看護学科は地域社会の強い要望があり、本学に設置して2年目を迎える新しい学科であるが、総合女子短期大学であるがゆえに他の4学科と共通の「女性学」、「子育て入門」、「美術入門」、「音楽療法入門」や「歯科衛生概論」など、看護学科単科の教育機関とは異なった熱心な教育が行われている。

デザイン美術科は日本の短期大学として最初にマンガコースを設置した経緯もあり、毎年フランスから留学生が来ているが、現在のITの進歩に基づく画像作成の進歩をとり入れた授業や彫刻なども教育され貴重な存在である。

音楽総合科も長い歴史を有し、ピアノ、オルガンなどのクラシックな音楽教育以外にもウインドアンサンブルコースの学外演奏活動も多く、音楽療法コースの授業とともに、地域に大きく貢献をしている。

これら芸術系2学科の修業年限は2年であるが、いずれの学科も卒業後も研究生として本学に残って勉強を続ける学生も多い。

なお、大学では専門分野ばかりでなく、リベラルアーツという基礎教養の重要性が論じられており、本学では5学科とは別に総合教育センターを置き、各学科での教育が縦系とすれば、横系にあたるもので、小規模の短大としては極めてユニークな存在である。このセンターでは一般教養の修得なども含めた学生の質の保証にも積極的に取り組んでいる。なお、教育の内容に充実のために古くから教員、職員はFDやSDに取組み、短期大学基準協会による第三者評価に初回と7年目の2度にわたり教育内容が適格であるとされている。また、文科省の教育GP (Good Practice) にも選ばれている。

その他には学生の就職支援センターや国際交流センターも設けられている。

このように、本学の開学以来の若い女性を知性と感性のバランスを兼ね備え、労働の重要性を説いた建学の精神を基本理念とした教育は、昨今重視されている「女子力」、「地域貢献」というキーワードに合致したものであり、まさに時代を先取りしたものであり、これからの更なる飛躍が期待できると思われる。

平成26年6月20日

学科だより

学科トピックス

■1年生 名札作り ボランティア実習に向けて

8月中旬から随時、実習前の保育ボランティアを約5日間行います。その時に使う名札を手作りしました。子どもたちと親しみが持てるようにキャラクターを考えながら作りました。



■2年生 子ども基礎研究で“ぶつぶあ”へ参加しました。

回を重ねるたびに顔見知りの親子が増えて、笑顔で相手とすることができるようになりました。最後のおたのしみ会は、手遊び、歌遊び、絵本、体操ダンス、などクラスごとに行い好評でした。



■3年生 施設実習が終わりました。

6月9日から24日まで(施設により日程は異なります)、保育実習Ibでは福祉施設実習が行われました。宿泊実習は5か所、通所実習は7か所でした。障害者施設では「利用者さんとのコミュニケーションの方法がわかった。個性ある人として支える大切さを理解した。」児童養護施設では「生活技術(家事)の力をつけた」など多くの学びがありました。

これからの行事予定

8/4～22	保育実習Ⅱ(2年)	保育所(園)に期間中90時間の実習を行います。
9/1～12	幼稚園実習Ⅰ(2年)	幼稚園で観察実習を中心に10日間行います。
9/18・19	幼教合宿(全学年)	静岡県 ヤマリゾートつま恋に1泊2日
11月後半	保育総合試験(2年)	実務研修へ行くための筆記・実技試験
1月第3週	子ども研究発表(3年)	1年間の子ども研究をポスターセッションします。
1/18	こども祭り	全学年で取り組む成果発表会

歯科衛生科

今年度の1年生は63名もの学生(定員50名)が入学し、4月の新入生を歓迎するFSC(ファースト・ステップ・キャンパス)の行事では、3学年総勢180名を超える学生同士のふれあいの中でとても賑やかで楽しいものとなりました。1年生は初めて聞く歯科衛生の専門用語に必死についてきながらも、放課後はクラブ活動やアルバイトにも精を出し頑張っているようです。2年生は後期から始まる臨床実習に備え、その準備学習に必死に取り組んでいます。これまで教育・指導等の世話を受けてきた者が、今度は臨床実習の中で患者教育や歯科保健指導等で実際にお世話をする180度転換した立場となります。3年生は卒業後の希望進路に合わせ専門性を向上させるため、「病院歯科専修クラス」「審美歯科専修クラス」「専門的口腔ケア専修クラス」「総合歯科診療専修クラス」の4つの専修クラスに分かれ後期臨床実習に出ます。専門性を修得し、地域医療等に貢献できる力を身につけることは必要な事です。が、「一人の女性として自分がどのように生きていきたいか」をいつも頭の片隅に置いておくことも大切であると思っております。歯科衛生科では地域社会に必要とされるしなやかな女性になれるよう、「女性力イノベーション」をキーワードに頑張っております。

学科長 石川 隆義

幼児教育科

保育者に求められているものは

妖怪ウォッチが爆発的ブームとなっている。可愛い妖怪キャラクターを育てたり、妖怪を発見して交流したりするゲームである。

妖怪たちが見つかるのは路地裏や駐車場の車の下などありふれた場所だ。いざこざや友達とのけんかなど身近なトラブルを解決していくという、子どもの日常性が存在している。現実の生活で人間関係をうまく構築できない現実が、子ども社会の人間関係を充実させる方法論を、子どもに求めさせているのかもしれない。

現実の世界に戻ろう。4歳児の生活を覗くと、けんかやいざこざ、葛藤の連続である。こうした経験を通して自分で考え判断し、自分を律し始め、相手のよさを認め他者との協同的な生活を創り出していく次のステージに歩み出すことができる。これはバーチャルな世界ではない。うまくいかないからといってリセットすることもできない。決してやり直しのきかない大切な幼児期の発達体験なのである。

27年度からは新制度の下、保育が展開されていくことになる。制度や仕組みが変わっても変わらないものが子どもの生活である。表面や結果を整えることが保育者の仕事ではない。その本質を見極め、子どもの現実生活に寄り添える保育者が今求められている。

学科長 西川 正晃



学科の取り組み・行事

4/15(火)・22(火)	【高齢者疑似体験】2年生
6/8(日)	【歯の健康フェスティバル】3年生
6/24(火)	【大垣市立北小学校歯科健康教育実習】3年生
7/1(火)	【大垣市立中川小学校歯科健康教育実習】3年生
7/2(水)	【ゆかたの着付け講座】1年生
7/8(火)・9日(水)	【岐阜県立大垣工業高校歯科保健指導実習】3年生
7/15(火)・16(水)	【岐阜県立大垣商業高校歯科保健指導実習】3年生

ゆかたの着付け講座

歯科では毎年恒例、総合教養演習のゆかたの着付け講座です。1年生62名が色とりどりのゆかたを着た姿は圧巻です。最初はひとり着られるか不安だった学生も、帯まで自分で結べるようになりました。



ゆかたの着付け

歯科健康教育実習

小学校1年生～6年生まで、それぞれの発達に応じた歯科保健指導を全クラスで行いました。2年生の後期から春休みにも学校に来て準備をし、現場で子どもたちと触れ合い得た経験は、今後の糧となることでしょう。



北小学校

中川小学校

歯科保健指導実習

高校生に対して個人歯科保健指導を行いました。問診や口腔の診査を実施し、ひとりひとりの生徒さんの口腔の問題を改善すべく、様々な視点からオーダーメイドの指導をする実践力を養いました。



大垣商業高校

学科だより

学科の取り組み・行事

5/11(日)「学外研修」(東山動植物園) 9/27(土)「学外研修」古美術実地研修(東大寺、興福寺他)
9/1(月)・2(火) マンガ持ち込みツアー 2015.2/10(火)～2/15(日) 第43回卒業記念展

学科トピックス

卒業生の活躍

- 2014.7月号 別冊フレンド 井口瞳 入賞
- 2014.8/6号 週刊少年マガジン MGP 奨励賞 植田美鈴

在校生・研究生の活動

- 武内酒造 日本酒ラベルコンテスト
最優秀賞—H25年度卒業 大山美沙紀
優 秀 賞—2年生 岩田結衣 上田裕子
- 平成26年度 芭蕉蛤塚忌全国俳句大会ポスター・チラシ原画募集にてデザイン美術科から最優秀賞1名、優秀賞1名、入賞16名が受賞(最優秀賞—H25年度卒業青山みなみ)

前期授業トピックス

■5/11(日)「学外研修」
愛知県名古屋市の東山動植物園にてスケッチ研修。天気にも恵まれ、思い思いの動物をじっくり観察しスケッチをしました。



■6/25(水)「総合教養演習」
ダンサーとして活躍されている井川一先生に「表現者」をテーマに講義をしていただきました。



■9/1(月)・2(火)「学外研修—マンガ持ち込み」
恒例の在京出版社へのマンガ原稿持ち込みです。

デザイン美術科

在校生へ

2年生は前期に卒制のプレゼンがあり、少なからず緊張したことと思います。人前で自分の作品を紹介するのはとても難しい。作り手は作品を作ることに一生懸命である。人に伝えるには言葉による作品の明示が必要になる。難しさは当然あるが作ることは言葉は作り手にとって自分を見つける、自分をより明解にするなど大切な部分でもある。良い経験になったかと思えます。

そして、長い夏休み。いろいろな社会勉強として、アルバイト、就職活動、社会生活、また制作として課題制作、自分の作品制作、コンペ出品、マンガ持ち込みなどいろいろな挑戦や体験をして少しずつ成長していくように思います。1年生は大学で四カ月を過ごし大学にも慣れ、今まで以上に意欲的に制作してほしいと思います。

制作の中でいろいろ考えること、悩むことがあります。人は制作上で何か負荷がかかると次のステップに行くためのパワーが生まれ、新しい形を得るのではないかと思います。誰でもその経験は多かれ少なかれあると思います。先生方にはその経験されたことを学生に話してほしいと思います。何よりの指導だと思えます。マンガの持ち込みに行く学生は夏休みもなく頑張ったことでしょう。良い結果が出ることを期待します。2カ月近くアルバイトをしていた学生時代の私は、9月に授業が始まった時、手は、指は動かなかった。前期に掴みかけていた線や形はどこかへ行ってしまった。やはり、描くこと作るとはどんな時でも続けなければならないと思います。手や指の感覚を戻すのに時間がかかった思い出があります。

学科長 加納 秀美

前期学科トピックス

ウインドアンサンブルコース

■7月8日(火)加納小学校依頼演奏

サラムンカホールで演奏し多くの小学生の笑顔に包まれた演奏でした。演奏の最後には花束をいただきありがとうございました。



音楽療法コース

■7月11日(金)特別養護老人ホームパサーダ施設実習

特別養護老人ホームパサーダで施設実習を行い、2年生が和太鼓の演奏をし大きな拍手を頂きました。



管楽器リペアコース

7月15日(火)(株)ビュッフェ・グループ・ジャパン技術者による、クラボン修理技術講習を2年生対象に実施。

ピアノ・電子オルガンコース

■7月7日(月)大垣市立青墓幼稚園セタコンサート

一緒に歌ったり手拍子をしたり、音楽に合わせて動きを付け踊ったりと、とても楽しんで頂けました。

前期の取り組み

4/6(日)	同窓会主催新人コンサートに 平成25年度卒業生が出演
4/13(日)	さくら祭り依頼演奏
5/18(日)	フラワー都市交流依頼演奏
5/19(月)	大垣センチュリーロータリークラブ 特別行事コンサートに出演
5/23(金)	名森小学校依頼演奏
5/31(土)	中川小学校依頼演奏
6/22(日)	西濃地区 手をつなぐ育成会依頼演奏
6/26(木)	本学にてランチタイムコンサート
7/7(月)	大垣市立青墓幼稚園にて セタコンサート
7/8(火)	加納小学校依頼演奏
7/11(金)	特別養護老人ホームパサーダで 施設実習
7/15(火)	(株)ビュッフェ・グループ・ジャパン技術者 による、クラボン修理技術講習
8/1(金)	水の都祭り依頼演奏
8/3(日)	音楽を楽しむ日依頼演奏
8/22(金)	わくわくどきどきコンサート依頼演奏
9/2(火)	鶴沼幼稚園依頼演奏
9/15(月)	鷺山地区敬老会依頼演奏

今後のスケジュール

■定期演奏会

平成26年10月4日(土)13:00開場 13:30開演
大垣市スイトピアセンター音楽堂

■卒業演奏会

平成27年2月13日(金)18:30開場 19:00開演
大垣市スイトピアセンター音楽堂

■ウインドアンサンブル定期演奏会

平成27年2月22日(日)13:00開場 13:30開演
大垣市民会館

看護学科

看護学科は、この4月に75名の新入生を迎え在學生は、167名となり1号館は活気にあふれたキャンパスになっています。2年生は大学に馴染み、空き時間を使って看護過程の個人指導、或いは課題提出へ毎日大忙しの日々を送っています。1年生は、やっと90分の授業に慣れたところです。また、看護技術を身につけるためセルフトレーニング室を活用し繰り返し練習を重ねている姿を目にしています。クラス全員で何かをする楽しみから解剖学の見学実習は、本学から岐阜大学までバスで出かけたのですが、遠足にでも行くような姿でした。この解剖学実習は、1年生、2年生がそれぞれ臨みました。写真で見る人体ではなく、解剖学を身近に感じることができる実習でした。学生の感想には、1年生ではひ遺体と向かい合ったとき何ともいえない気持ちに襲われたが、この献体していただいた方々に対して、学習することの意味や自己の学習姿勢を問い直す記述が多く書かれていました。また写真、模型等では実感できない個別であることの意味をかみ締めた記述もありました。2年生はその人の人生を感じ、背景の意味をかみ締め、人体の構造のすばらしさを感じていました。両学年とも献体への敬意と感謝の気持ちを述べ、その上で提供して下さった方々の行為に十分報いているか、自問し、看護師としてこれだけ重いものを背負うという心構えを学習したとも記述していました。教員としてこのような感性を育てている学生を頼もしく感じたと同時にこの実習にご尽力いただいた先生方に感謝申し上げますと共にこの学習が、よりよい看護に結びつき人々に貢献してくれることを期待しています。

学科長 栗田 孝子

学科の取り組み・行事

■1.解剖実習

2年生が5月24日(土)、1年生が6月17日(火)にそれぞれ岐阜大学で解剖実習を行いました。

■2.情報セキュリティガイドライン説明会 8月5日(火)

看護学科において個人情報の取り扱いのガイドラインとiPadの適切な使い方についてのハンドブックを作成しました。それに沿って1年生・2年生が合同で情報取り扱いの基本やルールについての学習をしました。



■3.臨地実習(看護過程実践実習) 9月8日(月)～19日(金)

2年生が、西濃地域の五つの病院において実習を予定しています。患者とのコミュニケーションを通して対人関係を成立・向上させること、個別的な看護ケアに必要な看護過程を展開する基礎的能力の習得することを目的として実習を行います。

■4.徳育教育

看護学生として幅広い視野と知識・感性を育成することを目的とした学外研修として、9月25日(木)、1年生が京都へ日帰り研修を行います。



■5.臨地実習(生活援助実習) 平成27年2月2日(月)～9日(月)

1年生が、初めての臨地実習を行います。看護の対象者の療養環境の理解やコミュニケーションの取り方、病状の把握や日常生活援助を行うことを目的とし、病棟看護師と共にケアを行います。

総合教育センター

短期大学卒業生にふさわしい教養の涵養をめざして

本学の短期高等教育としての質を高めるために設立された総合教育センターは、新しい教育内容や教育方法などとともに、全学的な教養教育のあり方や内容の検討を担当していますが、平成25年度入学生から教養科目の授業として年間20コマの「社会人教養特講」(3年はこれまでの「教養学習支援講座」として実施)を開講しました。

選択科目であるこの授業には、授業の準備や支援にあたるサポート学生(SA)とともに学科をこえて1年から3年までが参加しており、中等教育(中学校・高等学校・中等教育学校など)までの学習内容の定着や深化を中心としながら、社会人になったときに必要となる基礎的・汎用的知識について学んでいます。

具体的には、国語・数学・社会を中心に、復習のための問題に取り組み、用語や考え方、社会で必要となる深化した内容などを説明し、さらに定着を図る練習問題に取り組みという流れで授業を展開しています。

この授業をとおして、社会人に求められる知識を中心とした一般教養を身につけることはもちろんですが、一人一人の学生がそれぞれの専門に応じたキャリア・デザインに基づいて、自己理解を図り意欲をもって計画を立てながら学習に取り組む契機にしてくれればと願っています。

総合教育センター長 矢田貝 真一



テニス

週1回楽しくテニスしています。未経験者ばかりですが、コーチの指導で上達してきました。個々の技術が向上し、ようやく試合も形になってきました。有意義です。

■看護学科 森 睦子

バスケットボール

シュート練習や3対3を中心に活動しています！運動不足解消にも最適です！

■歯科衛生科 小椋 由理

写真クラブ

今年は年に3回の撮影会・遠征の後、学内で2回の写真展を予定しています。旅行も兼ねているので、楽しみながら撮影したいと思っています！

■看護学科 佐藤 伴美



ピアノ・エレクトーンアンサンブル

私たちのクラブは8月にプラネタコンサートを行い、多くの方に楽曲に触れてもらいました。みずき祭でもアンサンブルを披露する予定です。

■看護学科 岡峯 愛奈美

aim

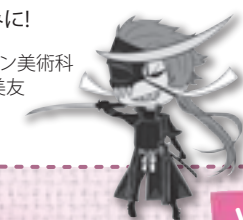
aimでは9月にあるマンガ原稿の持ち込みツアーに向けて原稿制作をしています。10月にはみずき祭もあるので、1人1人がより良い作品制作を目指して励みます。

■デザイン美術科 牧 ゆかり

地域歴史文化探訪会

歴史好きが集まって、歴史にまつわる史跡や資料館に出かけます。みずき祭ではグッズ販売をする予定です。お楽しみに！

■デザイン美術科 浅井 美友



児童文化

私たちは、様々な施設で着ぐるみショーをしたり、制作活動をしています。みずき祭やサイトピアセンターでのショーに向けて、お客様に楽しんでいただけるよう練習しています。

■幼児教育科 松波 香帆里



バレーボール

週一で主にパス、スパイク練習、レシーブ練習を行っています。6月の春季大会では3部優勝で2部に昇格という結果を残しました。上下関係もなく楽しくやっています。

■看護学科 柳原 礼奈



夕焼けキャッチボール

毎週木曜日にグラウンドで楽しくキャッチボールをしています。みんなでおそろいのTシャツを着て和気あいあいとマイペースに活動しています。部員募集中！



■デザイン美術科 新井 里奈

ボカロ部

大垣市駅前ハツラツ市コスプレパレードに参加したり、様々な絵を描いたり、MIXしてみたりと個々のペースで活動しています。今はみずき祭に向け販売物を製作中！

■幼児教育科 松岡 未来

茶道部

茶道部では、お茶の文化や雰囲気を感じながらお点前の作法を学んでいます。みんな初心者ですが、作法を覚えようと楽しみながらクラブ活動をしています。

■看護学科 岡峯 愛奈美

手話サークル

月2回、外部講師の先生をお招きして、簡単な日常会話や単語などを楽しく勉強しています。手話を習っていた方や、興味のある方は是非来てください！！

■看護学科 石塚 かおる

演劇部

演劇部はみずき祭で行うステージ発表に向けて、日々活動しています。「みんなで仲良くする」をモットーに、学科学年問わず協力し合い、みずき祭を成功させたいと思います！

■デザイン美術科 濱口 亜寿香



踊ってみた

今は大学祭に向けて各自練習に取り組んでいます。時間が出来次第、動画投稿していきたいと思っています。踊りが上手い下手は関係なく楽しんで踊っています！

■看護学科 塩谷 恵美

新しい「自分」の発見。 仲間との出会い！

入りたいクラブがあればすぐ連絡してみてね！
分からなければ学生支援課へたずねてみよう！

V.G.トライアングル

月に1度、施設へ行き音楽活動をしています。季節の歌をうたったり、お話をしたり充実した時間を過ごしています♪とても楽しいサークルなので参加してみてください！

■幼児教育科 加藤 愛



パソコン

パソコンクラブはオリジナルのCGイラスト制作を活動としているサークルで、描いたイラストの展覧会を開いたり、グッズを制作してみずき祭で販売をしたりします。

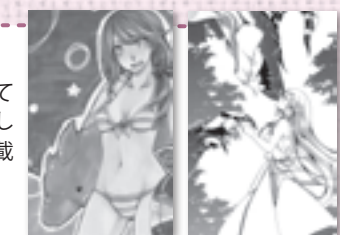
■デザイン美術科 山口 香蘭



漫画研究部

通常はイラストを描いたり、漫画を読んだりしており、みずき祭では部誌やカレンダーを販売します。また、地域の広報誌に4コマ漫画を掲載しています。一緒に絵を描きませんか？

■デザイン美術科 保浦 愛



song & song

コンサートやカラオケ大会をしていて、いろんな歌を歌ってみんなに聴いてもらったりしています！今はみずき祭に向けて、もっと上手に!!と楽しく練習しています。

■デザイン美術科 大石 梨央



人形部

今年発足したクラブです。メンバーは、学科を越えて協力して楽しい活動を目指します。人形劇を通じて地域の子どもや高齢者と楽しさと癒しのある交流をします。

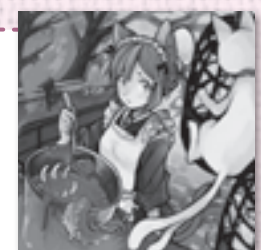
■デザイン美術科 小野木 香奈



コンテンツ産業部

毎週イラストテーマを決め、テーマに沿って描いた絵を発表します。今後も部員全員で画力向上を目指し、コンテストなどにも積極的に参加していきたいです。

■デザイン美術科 山本 有里恵



晴れのち畑～The field Cloudy～

このクラブでは、学内の畑を使用し今年はトウモロコシやサツマイモ、かぼちゃ、花などを育てています。収穫した作物は美味しく調理し、みずき祭に出店します。

■看護学科 松浪 茜



バドミントン

フットサル

軽音部

学友会だより

平成26年度 みずき祭は10月25日(土)開催

Brighten Quintet

『5学科それぞれの良いところを持ち合おう
学生一人一人の魅力を磨き合おう
キラキラぴかぴかのみずき祭を実現させよう』
という思いをテーマに込めました。

学友会ではみずき祭に向けて、マナーアップ
キャンペーンやヘルスアップキャンペーンを
実施しています。綺麗な校舎で笑顔が
あふれるみずき祭にしましょう!!

みずき祭を盛り上
げるために皆で頑
張っています!!

本部



(上段左から 大橋、三笠、
山田晶、木下、渡部)

舞台担当



(上段左から 永治、堀部、
塚越、田中悠、刈谷)

情宣担当



(左から 見邊、牧、面村、
田中玲、鈴木里)

ゲート担当



(上段左から 鈴木唯、平井、坂梨、
高井、山田佑)

「研究室から」

今を大切に

音楽総合科准教授 遠藤 宏幸

フリーの演奏家として活動していた私が本学に勤務するようになり6年半の月日が経ちました。前回この「研究室から」の記事を書かせていただいたのがちょうど6年前、あっという間でしたが小学校で言えば卒業した程の年月が経っていると思うと驚きです。

私は音楽を仕事とし本学の教員として着任しましたが、私がなぜ音楽の道に進んだのか、それは目標や夢だったわけではありません。最初は

趣味で始めた楽器でしたが、次第に夢中になり周りから認められ進む道が次第に見えてきました。結局はその時々「やりたい事」「自分がすべき事」を一生懸命やっていけば次々に近い将来の目標が見え、そこでまた「やりたい事」「自分がすべき事」が見えてきます。もしかしら遠い将来の目標や夢は必要がないのかもしれませんが、その時々「今」を大切に、自分のすべき事をやり続けられれば必然と成長していくことができるのではない

でしょうか。もし自分がすべき事がなければ環境を変えたり、視点を変えたりする事も必要かもしれません。

学生と話していると彼女たちの中には何かしらの制限を設けて将来の自分をイメージしているように感じます。現実を見る事も大切ですが、時には自分に素直になり「今やりたい事」「今自分がすべき事」を考えてみると自ずと進むべき道が見えてくるのではないのでしょうか。

大垣女子短期大学での思い出

幼児教育科

感謝の気持ちを
忘れずに...

渡邊 亜美

平成20年3月卒業
なかね保育園 勤務



保育士として働き始めて6年が経ちました。この6年を振り返ると、楽しいことばかりでなく、年数を重ねるごとにその分壁にぶち当たったことも多くなり、保育士になりたい!とがむしゃらに走り続けていた頃の純粋な気持ちをいつしか忘れてしまっている自分がいました。自分の無力さに自信をなくし、あんなに夢だった保育士として働くことがつらいと思うこともありました。しかしここまで続けてこれたのは、支えてくれる職場の先輩や後輩、家族や友だち、卒業した今でも変わらず私たちの活躍を願ってくださる短大の先生方、そしてかわいい子どもたちの存在があったからだと思います。年長組を初めて担任した年の卒園式で、保護者の方から「○○(子ども)の将来の夢は保育士です。渡邊先生みたいな先生になるんだそうです」と手紙もらった時は本当に嬉しくて、自分のやってきたことは間違っていないんだ、認めてくれる人がいるんだと、読みながら大号泣したのを覚えています。周りの人たちの支えがなかったらきっと今の私はないと思います。

働く上でつらいこと、悲しいことはあるかもしれませんが、それ以上の感動や喜びもたくさん経験できると思います。私は保育士になって良かったと心から思います。こんなにやりがいのある仕事はないですよ。今こうして動かしてもらえることに感謝し、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

デザイン美術科

自分の起源

河村 真彩

平成26年3月卒業
ヨツハシ株式会社
企画部デザイン室 勤務



大垣女子短期大学を卒業してからまだ数ヶ月しか経っていないのに、大学生生活を振り返ると懐かしくて仕方ありません。

現在私は、ヨツハシ株式会社という印刷会社でDTPやwebの仕事をしています。入社当初は、慣れない環境で日々次から次へと新しい情報が入ってくるため、基礎を覚えるだけで精一杯でしたが、最近は環境にも仕事にも少しずつ慣れてきました。仕事内容はイラストレーターやフォトショップを使った仕事が殆どで、地図や紙面に使うアイコンなどの部品を作成したり、配属先がweb制作チームになったので、webデザインの授業で学んだことを活かしてコーディングも行っています。どの仕事においても、在学中に覚えた知識と経験が今の私の糧となっています。

在学中は自分がやりたい事しかやっていなかったの、きちんと仕事としてやっていけるのか正直不安でした。しかし最近、様々な科目の課題をこなしていく中で、知らぬ間に今の仕事に通ずる知識と技術が身に付いていた事に気付いたのです。そして、この大学で学ぶことが出来て本当に良かったと、改めて深く実感しました。

大学で過ごす時間は、気を抜くとあっという間に過ぎてしまいます。在学生の皆さんには、自分に与えられた時間を有効的に活用し、充実した日々を送って欲しいと思います。

音楽総合科

社会人としてのこれから

高橋 蒼

平成24年3月卒業 三響楽器株式会社 勤務

私は短大時代、学生として2年間管楽器の仕組みや修理の技術を学び、卒業して1年間、指導助手として先生方のサポートをさせて頂きながら、自分自身の修理技術の向上に励みました。今は事務として電話の対応やデータ入力などを行っていますが、3年間修理を学んだことで、メンテナンスの相談や、部品の問い合わせ等に対応出来ています。培った知識を元にこれから更に能力向上に努めていきます。

惣ト 美帆

平成26年3月卒業 三響楽器株式会社 勤務

私は2年間管楽器修理の勉強をして就職しました。実際に仕事として修理をするようになり、授業と仕事の違いを改めて感じています。修理以外にも店頭の仕事など、毎日が勉強で大変ですが、先輩方に指導していただきながら一日一日過ごしていきます。大学で先輩だった高橋さんも今は会社の先輩で、仕事のことなど相談にのって頂いています。今はまだ分からないことが沢山ありますが、日々成長できるように努力していきます。

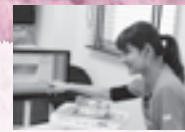


歯科衛生科

3年間で身につけたもの

杉浦 千南星

平成26年3月卒業
医療法人自正会
美合歯科クリニック 勤務



学生時代を振り返ってみると歯科衛生科で学ぶ専門的な分野だけでなく一般教養や自分を表現する力を身につけられたように思います。

学校では歯科の勉強だけではなく国語、体育、心理学など興味のあることを選択科目で知識を深めることができました。また、茶道や着物の着付け講座といった授業もあり、日本の美しい文化と女性の姿について再認識できたことも印象強く残っています。

歯科衛生科では、2年生の後期から臨床実習が始まり、初めての臨床の場に毎日奮闘していました。思うようにいかず悩むときもありましたがチューターの先生や友人に支えられ、最後まで走り切ることができました。書き溜めてきた実習日誌は頑張ってきた証として自分の支えになっています。

学生時代で最も思い出深い事柄は国家試験の勉強です。歯科衛生科の学生として最後の到達点である国試合格は、思っていた以上に大変で、国試対策の授業では毎日先生方に活を入れて頂きました。試験前日には友人と試験会場近くのホテルに宿泊し、互いに問題を出したりして、当日まで一緒に勉強をしました。その結果として3年生全員の合格を実現できたことをとても嬉しく思います。

私は現在歯科医院で歯科衛生士として働んでいます。就職してから日々勉強、自分の未熟さにへこむことも多々あります。ですが患者様を通じてこの仕事のやりがいを感じ、お口の健康から全身の健康へのお手伝いができることを誇らしく思います。

Information

●平成26年度 オープンキャンパス開催日程

9/13(土) 13時30分～15時30分

10/25(土)大学祭同時開催

オープンキャンパスに関するお問い合わせ

入試・広報課 0584-81-6819

平成25年度決算報告

学校法人大垣女子短期大学の平成25年度における決算書類は次のとおりです。

なお、事業報告については本学ホームページに掲載していますので
ご覧ください。

■財産目録 平成26年3月31日現在

I 資産総額	4,845,936,093 円
内 基本財産	4,196,634,872 円
運用財産	649,301,221 円
II 負債総額	346,197,651 円
III 正味財産	4,499,738,442 円

(単位:円)

区分	金額	
資産額		
1.基本財産		
土地	37,952 ㎡	581,366,762
建物	28,377 ㎡	2,271,544,916
構築物	162 点	128,640,592
図書	98,980 点	331,305,744
教具・校具・備品	10,766 点	289,683,855
その他		594,093,003
	計	4,196,634,872
2.運用財産		
現金預金		642,382,949
その他		6,918,272
	計	649,301,221
資産総額		4,845,936,093
負債額		
1.固定負債		0
	計	0
2.流動負債		
短期借入金		0
前受金		313,080,000
その他		33,117,651
	計	346,197,651
負債総額		346,197,651
正味財産(資産総額－負債総額)		4,499,738,442

消費収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで(単位:円)

消 費 収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 納 付 金	673,260,000	673,927,000	△667,000
手 数 料	12,927,000	13,638,500	△711,500
寄 付 金	15,225,000	17,255,172	△2,030,172
補 助 金	156,200,000	159,009,382	△2,809,382
国 庫 補 助 金	87,000,000	87,147,000	△147,000
地方公共団体補助金	69,200,000	71,862,382	△2,662,382
資 産 運 用 収 入	3,590,000	3,768,112	△178,112
資 産 売 却 差 額	395,000	394,927	73
事 業 収 入	1,950,000	1,966,388	△16,388
雑 収 入	653,000	1,210,292	△557,292
帰 属 収 入 合 計	864,200,000	871,169,773	△6,969,773
基 本 金 組 入 額	△237,350,000	△197,772,083	△39,577,917
消費収入の部合計	626,850,000	673,397,690	△46,547,690

消 費 支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	538,000,000	537,200,223	799,777
教 育 研 究 経 費	313,401,000	284,345,997	29,055,003
管 理 経 費	106,292,000	99,647,116	6,644,884
資 産 処 分 差 額	3,500,000	1,466,750	2,033,250
予 備 費	10,700,000	0	10,700,000
消費支出の部合計	971,893,000	922,660,086	49,232,914
当年度消費支出超過額	△345,043,000	△249,262,396	
前年度繰越消費支出超過額	△2,126,449,053	△2,126,449,053	
翌年度繰越消費支出超過額	△2,471,492,053	△2,375,711,449	

資金収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	673,260,000	673,927,000	△667,000
手数料収入	12,927,000	13,638,500	△711,500
寄付金収入	11,900,000	11,940,000	△40,000
補助金収入	156,200,000	159,009,382	△2,809,382
国庫補助金収入	87,000,000	87,147,000	△147,000
地方公共団体補助金収入	69,200,000	71,862,382	△2,662,382
資産運用収入	3,590,000	3,768,112	△178,112
資産売却収入	395,000	395,000	0
事業収入	1,950,000	1,966,388	△16,388
雑収入	653,000	754,447	△101,447
前受金収入	291,710,000	313,080,000	△21,370,000
その他の収入	200,246,441	201,656,978	△1,410,537
資金収入調整勘定	△291,710,000	△291,756,254	46,254
前年度繰越支払資金収入の部合計	747,688,737	747,688,737	
	1,808,810,178	1,836,068,290	△27,258,112

支 出 の 部			
科 目 支	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	538,000,000	537,200,223	799,777
教育研究経費支出	142,701,000	132,543,999	10,157,001
管理経費支出	91,792,000	86,147,818	5,644,182
施設関係支出	39,600,000	37,690,645	1,909,355
設備関係支出	203,850,000	194,273,018	9,576,982
資産運用支出	200,000,000	200,000,000	0
その他の支出	13,587,781	13,652,206	△64,425
予 備 費	8,100,000	0	8,100,000
資金支出調整勘定	△9,704,818	△7,822,568	△1,882,250
次年度繰越支払資金	580,884,215	642,382,949	△61,498,734
支 出 の 部 合 計	1,808,810,178	1,836,068,290	△27,258,112

監 査 報 告 書

早稲田大学大学院早稲田大学
理事長 中 野 啓 雄

平成29年3月14日
早稲田大学大学院早稲田大学
理事 高 野 一 浩
理事 木 崎 長 浩

私たちは、早稲田大学大学院早稲田大学の監事として、私立学校法第37条第3項第
五号で同法人の平成29年度(平成29年4月1日から平成29年3月31日まで)にお
ける財務諸数(貸借対当表附属事項、関係会社財務事項、貸借対当表並びに附属組織等)
を含め、学校法人の業績、財産の状況並びに理事の職務履行状況について監査を
行いました。

私たちは監査にあたり、理事会に出資するほかの理事からの意見を聴取し、
監理の決裁書類等を閲覧するなどの必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業績に関する決定及び執行に留意してあり、財
務諸数及び計算書類は、学校法人会計基準(昭和40年文部省令第18号)に準拠し、
てあり、早稲田大学大学院早稲田大学の平成29年3月31日現在の財務諸数及び関係
事項について降する会計年度の経理状況と実質に合致しているとの結論をもちました。また、
理事の職務履行状況に関する平正な行為又は非善行は計上されていないと判断可能な事
実のないことを確認いたしました。

監查報告

貸借対照表

平成26年3月31日現在(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	4,196,634,872	3,925,548,121	271,086,751
有 形 固 定 資 産	3,629,652,447	3,558,565,696	71,086,751
土 地	581,366,762	581,366,762	0
建 物	2,271,544,916	2,342,428,867	△70,883,951
その他の有形固定資産	776,740,769	634,770,067	141,970,702
その他の固定資産	566,982,425	366,982,425	200,000,000
流 動 資 産	649,301,221	955,641,190	△306,339,969
現 金 預 金	642,382,949	747,688,737	△105,305,788
その他の流動資産	6,918,272	207,952,453	△201,034,181
資 産 の 部 合 計	4,845,936,093	4,881,189,311	△35,253,218

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	0	0	0
流動負債	346,197,651	329,960,556	16,237,095
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	346,197,651	329,960,556	16,237,095
負債の部合計	346,197,651	329,960,556	16,237,095

基 本 金 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	6,575,449,891	6,377,677,808	197,772,083
第 2 号 基 本 金	0	0	0
第 3 号 基 本 金	200,000,000	200,000,000	0
第 4 号 基 本 金	100,000,000	100,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	6,875,449,891	6,677,677,808	197,772,083

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△2,375,711,449	△2,126,449,053	△249,262,396
消費収支差額の部合計	△2,375,711,449	△2,126,449,053	△249,262,396

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,845,936,093	4,881,189,311	△35,253,218
------------------------	---------------	---------------	-------------

■平成25年度 学友会 収支決算書

自 平成25年4月1日
至 平成26年3月31日

収 入 の 部			
項 目	予 算	決 算	差 異
学 友 会 費	4,956,000	4,956,000	0
みずき会(学友会助成)	1,300,000	1,300,000	0
みずき会(みずき祭助成)	800,000	800,000	0
雑 収 入		30,000	△ 30,000
前 年 度 繰 越 金	4,345,091	4,345,091	0
合 計	11,401,091	11,431,091	

支 出 の 部			
項 目	予 算	決 算	差 異
学 友 会 活 動 費	1,500,000	711,162	788,838
ク ラ ブ 活 動 費	1,500,000	866,563	633,437
み ず き 祭 経 費	3,000,000	2,685,286	314,714
全 国 大 会 参 加 費	200,000	113,400	86,600
慶 弔 関 係	200,000	0	200,000
卒 業 記 念 品 等	500,000	499,290	710
図 書 費	200,000	112,360	87,640
印 刷 費	200,000	88,936	111,064
消 耗 品 費	400,000	9,135	390,865
雑 費	29,091	0	29,091
次 年 度 繰 越 計	3,672,000	6,344,959	△ 2,672,959
合 計	11,401,091	11,431,091	

●大垣女子短期大学 みずき会 平成25年度収支決算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで(単位:円)

収入の部		予 算	決 算	差 異
会 費 収 入		16,200,000	16,830,000	△ 630,000
奨 学 金 償 還 額		150,000	86,000	64,000
雑 収 入		1,500	1,612	△ 112
前 年 度 繰 越 金		6,058,571	6,058,571	0
合 計		22,410,071	22,976,183	△ 566,112

科 目	支 出 の 部		
	予 算	決 算	差 異
教育懇談会助成	200,000	119,790	80,210
学生助成	9,480,000	9,426,000	54,000
学友会助成	1,300,000	1,300,000	0
みずき祭助成	800,000	800,000	0
卒業記念品	3,060,000	3,006,000	54,000
卒業記念パーティ助成	820,000	790,000	30,000
特別講座助成	700,000	700,000	0
学外研修助成	2,800,000	2,830,000	△ 30,000
奨学金	1,600,000	0	1,600,000
貸与奨学金	1,500,000	0	1,500,000
銀行提携ローン利子補給	100,000	0	100,000
大学助成	6,100,000	5,177,600	922,400
図書購入助成	1,400,000	747,080	652,920
教育事業助成	1,700,000	1,443,700	256,300
環境維持助成	2,500,000	2,486,820	13,180
50周年記念積立	500,000	500,000	0
運営費	860,000	479,450	380,550
会議費	30,000	15,365	14,635
事務費	50,000	50,000	0
通信費	150,000	94,150	55,850
印刷費	500,000	318,780	181,220
見舞・弔慰費	100,000	0	100,000
雑費	30,000	1,155	28,845
予備費	200,000	0	200,000
翌年度繰越金	3,970,071	7,773,343	△ 3,803,272
合 計	22,410,071	22,976,183	△ 566,112

平成25年度大垣女子短期大学みずき会の会計監査にあたり、収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿・関係証票等を慎重に審査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

平成26年3月26日 会計監査 上山 紀美代
会計監査 森山 高明

※平成25年度卒業記念品アルバムは平成26年5月頃に出来上がるため、平成26年度での支出となります。

監査の結果、帳票等について
正確かつ適性であることを認めます。

平成26年5月13日

会計監査 田中 玲香

会計監査 田中 悠子

みずきトピックス mizuki topics Autumn 2014

●平成26年度 主な全学行事

入学式	4月5日(土)	十萬石まつり	10月12日(日)
ファーストステップキャンパス(FSC)	4月4日(金)	文化活動の日	10月23日(木)
健康診断	4月1日(火)～3日(木)	みずき祭前日祭・みずき祭	10月24日(金)・25日(土)
前期授業	4月7日(月)～7月29日(火)	こども祭	1月18日(日)
前期定期試験	7月30日(水)～8月8日(金)	デザイン美術科卒業記念展	2月9日(月)～2月15日(日)
後期授業	9月22日(月)～1月23日(金)	音楽総合科卒業演奏会	2月13日(金)
後期定期試験	1月26日(月)～2月4日(水)	卒業証書・学位記授与式	3月15日(日)



入学式(大垣市民会館にて)



FSC 学科交流会(歯科衛生科)



FSC クラブ紹介



●人事短信

採用(平成26年4月1日付)

よろしくお願ひします!!



幼児教育科教授
少徳 仁



歯科衛生科助教
今井 藍子



看護学科准教授
大内 隆



看護学科講師
清水 美恵



看護学科講師
谷 純子



看護学科助教
大橋 英治



看護学科助教
那波 潤美



総務課
松岡 佑香



入試・広報課
小野 真以

退職

(平成26年3月31日付)

幼児教育科講師
勝野 愛子

歯科衛生科教授
畔地 美紀

歯科衛生科講師
三田 智子

総務課
齊藤 貴美

入試・広報課
西川 真衣

大垣女子短期大学
Ogaki Women's College

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL.(0584) 81-6811(代) FAX.(0584) 81-6818 <http://www.ogaki-tandai.ac.jp>

【学科構成】幼児教育科・デザイン美術科・音楽総合科・歯科衛生科・看護学科



マスコットキャラクター
みずきー



第三者評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣認証評価機関により受ける認証評価。
平成24年度において認証評価を受けた結果、基準をすべて満たし、平成17年度に
続き、「適格」と認定されました。

大垣女子短期大学通信
みずき 2014 秋号
No.33

発行日/平成26年9月1日
編集/広報委員会
発行/大垣女子短期大学
E-mail info@ogaki-tandai.ac.jp